

協議会広報委員会の活動

井岡 亜希子 理事

大阪府立成人病センター
がん予防情報センター 企画調査課



広報委員会では、会員の皆様が所属される地域がん登録事業の広報のあり方・支援を第一に取りあげたいと考えております。地域がん登録事業を実施していく上で、一般の方々や医療機関の皆様のご理解・ご協力は重要です。また、「地域がん登録はがん対策の羅針盤」といわれますように、効果的ながん対策を実現するために、地域がん登録資料の活用は欠かせず、「がん登録等の推進に関する法律」(2016年1月1日施行予定)では、各都道府県における都道府県がんデータベース(地域がん登録データ、全国がん登録データ<当該県在住者分および当該県所在の医療機関からの届出分>、都道府県独自項目を含めたもの)の構築、そのデータの活用が示されています。

そして、地域がん登録資料の活用は、情報提供の対象によってその内容が下記のように異なります。

1. 対象が都道府県のがん対策担当課の場合は、都道府県がん対策推進計画の企画と評価のための基礎資料
2. 対象が市町村の場合は、当該市町村のがん統計(罹患、早期診断割合など)
3. 対象が県民の場合は、がん登録・がん対策全般の情報

2016年診断症例から登録が開始される全国がん登録では、病院に届出義務が課されることから、現在は3.の広報の優先順位も高くなっています。広報委員会では、都道府県で行われるがん登録に関する広報の一助となるよう、リーフレット等の提案に取り組みたいと考えております。

JACR委員会報告 教育研修委員会

柴田 亜希子 副理事長

国立がん研究センター
がん対策情報センター がん統計研究部

教育研修委員会では、下記の3事業を展開しています。

第一事業:登録データの質の向上(QA作成等の協議)

第二事業:地域ブロックでの自主的教育・研修活動のサポート(金銭的、人的)

第三事業:実務者表彰制度の主担当及び表彰者の選考

委員は、平成24年4月の活動開始時から、私、国立がん研究センター 柴田、栃木県 大木いずみ先生、愛知県 伊藤秀美先生、平成25年3月から、三重県 福留寿生先生、大阪府 井岡亜希子先生 の5名です。

事業ごとの活動内容は、第一事業:登録データの質の向上(QA作成等の協議)として、国立がん研究センターがん対策情報センター地域がん登録事務局にメール等で寄せられた登録実務に関する質問の中で主にコーディングに関する質問について、教育研修委員に回覧し、合議によって回答を作成しています。質問回答は質問者に直接回答の他、定期的に協議会の会員専用サイトのQAに蓄積しています。第二事業:地域ブロックでの自主的教育・研修活動のサポートについては、残念ながら金銭的サポートはできておりませんが、各委員に所属する地域で任意の活動を行っていただいています。その他、協議会の学術集会時の実務者研修会の内容企画等、日本公衆衛生学会総会時の自由集会の企画、運営を毎年行っています。本年度の学術集会が委員の福留先生の所属の三重県で開催されたこともあり、実務者研修会は新しい趣向をこらされ、楽しい内容であったことはご承知のとおりです。日本公衆衛生学会総会の自由集会は昨年10月に同じく三重県で開催され、三重県地域がん登録関係者にご協力いただき、全国から13名の参加を得て、情報交換、意見交換をする貴重な機会を持つことができました。

教育研修委員会はいつでも自薦による委員を募集中です。特に、第二事業の企画運営に携わってみたいという方、お近くの委員にお声がけいただければ幸いです。